

2007年6月8日

読売新聞社 御中

NHK経営委員長の人事をめぐる貴社の報道についての公開質問書

時下、貴社におかれましては、ご清祥のことと存じます。

さる5月18日の貴紙朝刊1面に、「NHK経営委員長 古森氏 近く選出」という見出しの記事が掲載され、その中で次のように記されています。

「NHK経営委員会の次期委員長に、富士フイルムホールディングスの古森重隆社長（67）が6月にも選出されることが確実となった。」「放送法の規定で、12人の委員は首相が任命し、委員長は委員が互選する。古森氏は6月に任命された後、委員長に選ばれる見通しだ。」

また、同日の貴紙朝刊11面では、「首相自ら古森氏選ぶ」という見出しの記事が掲載され、冒頭で次のように記されています。

「NHKの次期経営委員長に古森重隆・富士フイルムホールディングス社長の就任が確実になったが、人選は最後まで難航し、最終的には、安倍首相が古森氏を自ら選んだとされる。」

私たちは、これらの記事には、NHK経営委員長の選出をめぐる報道のあり方について、さらには政府とNHK経営委員会の関係をめぐるジャーナリズムの見識について、重大な疑問があると判断し、以下の質問を提出します。これについての貴社の見解を6月20日までに文書で下記宛てにお送りくださるよう、お願いいたします。

質問1 この記事について、これまでに、政府あるいは古森重隆氏側から、何らかの訂正の申し入れがあったのでしょうか？ あったとすれば、どのような申し入れだったのでしょうか？

質問2 上記の記事にも記されているように、NHKの経営委員長は経営委員の互選で選出することになっています（放送法第15条第2項）。したがって、内閣総理大臣が放送法第16条第1項に従い、両院の同意を得て特定の人物を経営委員に選任することと、その人物が経営委員長に選出されるかどうかはまったく別個の問題です。

にもかかわらず、上記の記事で、「NHK経営委員会の次期委員長に、富士フイルムホールディングスの古森重隆社長（67）が6月にも選出されることが確実となった」とか、「安倍首相が古森氏を自ら選んだとされる」などと記された根拠はどこにあったのでしょうか？

質問3 記事にあるように、政府が個人名まで特定して、経営委員長の人事に介入しているとすれば、それは経営委員の互選によると定めた放送法第15条第2項に反する違法行為に当たることは明白です。にもかかわらず、上の記事がこうした政府の行為の違法性に一切触れず、古森氏の経営委員長就任が既定の事実となったかのように報道しています。これは、経営委員長の選任権を持つ経営委員を冒涇するものであるとともに、政府の違法な人事介入を追認するばかりか、それを喧伝・助長するものであると当会は考えますが、貴社はどのようにお考えか、ご回答ください。

質問4 貴紙の報道が事実とすれば、時の政権トップの人脈・意向で法を侵してでもNHKの最高意思決定機関の長を選ぼうとする傲慢な政治介入があったことになります。こうした政治介入を不問にした貴紙の報道姿勢は、権力を監視すべきジャーナリズムの使命を放棄したのも同然と考えられます。これについての貴紙の見解をお聞かせください。

以上

NHKを監視・激励する視聴者コミュニティ
共同代表：湯山哲守・醍醐聰

HP：<http://space.geocities.jp/shichoshacommunity/>

メールアドレス：shichoshacommunity@yahoo.co.jp

専用電話：048-873-3520

NHK問題を考える会（兵庫）

代表：貫名初子

電話&FAX：078-351-0194

メディアの危機を訴える市民ネットワーク事務局

HP：<http://www.jca.apc.org/mekiki/index.html>

メールアドレス：mekikinet-owner@yahoogroups.jp

FAX：020-4666-7325

ご回答は文書にて下記へお送りくださるよう、お願いいたします。

（住所 割愛）

醍醐 聰